

こんなにある！八尾の交通問題

現在、八尾市内では主に以下のような交通問題が発生しています。

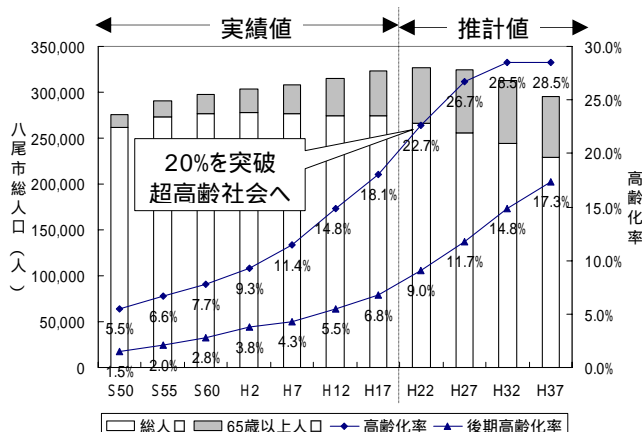
超高齢社会の到来 ～5人に1人が高齢者 急速にすすむ高齢化

現状は・・・

- ・平成 17 年度末現在、高齢化率 18.1%
- ・平成 22 年には高齢化率が 20%を突破(推計)。
5 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者という超高齢社会へ
- ・平成 37 年には後期高齢化率が 17.3%と予測され、
6 人に 1 人が 75 歳以上の高齢者に

このような問題につながります・・・

- 交通事故の発生
- バリアフリー化が進んでいないエリアでの移動困難 / など



《八尾市における年齢別人口の推移》

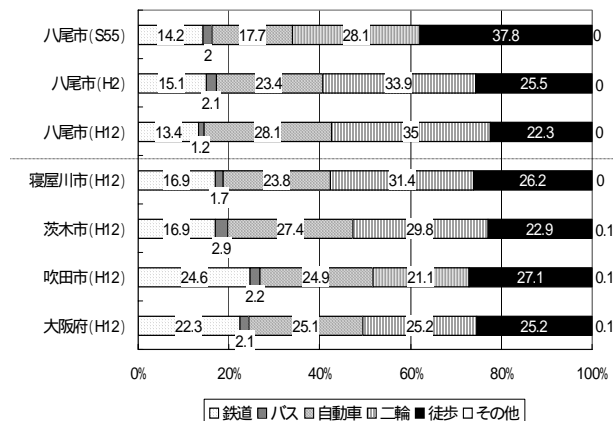
公共交通利用率の低下 ～バスがなくなる！ 公共交通存続の危機

現状は・・・

- ・八尾市は大阪府平均に比べて、公共交通利用率が低い。
(公共交通利用率 14.6%(平成 12 年)、府平均 24.4%(同年))
- ・逆に、各個人が動きやすい(モビリティの高い)
二輪・自動車利用率が高い。
(二輪・自動車利用率 63.1%(平成 12 年)、府平均 50.3%(同年))

このような問題につながります・・・

- 交通渋滞、環境汚染の悪化
- 交通事故の発生
- 公共バス事業への赤字補填による行財政の悪化 / など



《八尾市における移動時の利用交通手段の割合》

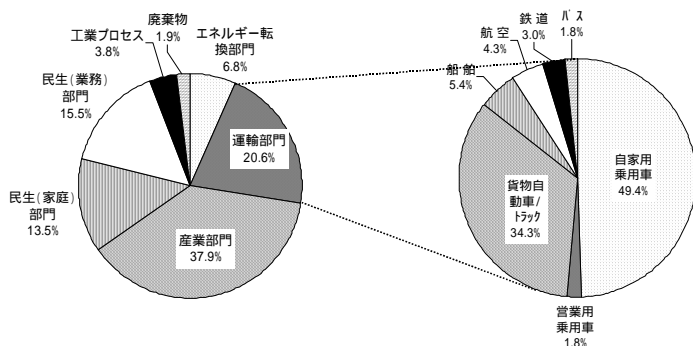
交通渋滞、大気汚染 ～車への過度の依存 慢性的な交通渋滞 危険なまちなか

現状は・・・

- ・市内における交通渋滞が慢性化し、
幹線道路沿いの環境が悪化。
- ・運輸部門の二酸化炭素排出量の約半分は、
自家用車から排出されている。

このような問題につながります・・・

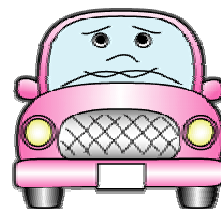
- 交通事故の発生
- 歩行者環境の悪化
- 公共交通車両の定時性低下(時間通りに来ない)
- / など



《日本の部門別二酸化炭素排出量の割合 (2003 年)》



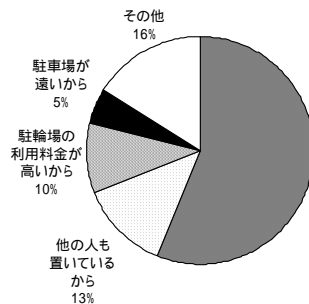
えらいことになってるなあ。
みんなで自動車の使い方
考えてもらいたいなあ。



放置自転車、違法・めいわく駐車 ~ ちょっとだけ 私の便利が みんなの迷惑

現状は・・・

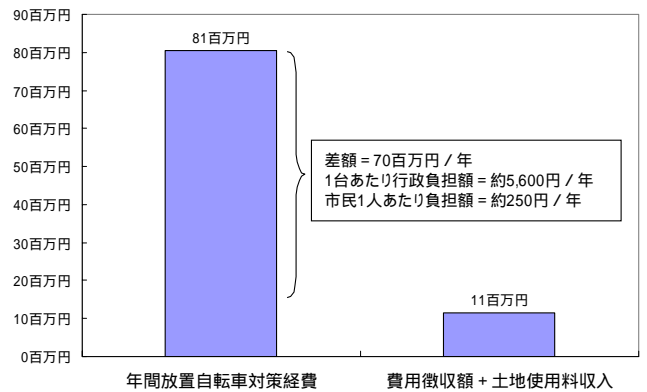
- ・「少しの時間だけなら・・・」、「他の人もおいているし・・・」といった理由で、軽はずみに自転車が放置されている。
- ・放置自転車移動のために年間約 7,000 万円の税金が使われている。



このような問題につながります・・・

- 歩行者通行の妨害
- 公共空間マナー意識レベルの低下
- 交通事故の発生(死角の増加)
- 救急・消防活動の妨げ

《自転車を利用した理由》



《放置自転車撤去にかかる行政コストと返還費用徴収額の比較》

悪気はなくても
他の人の迷惑に
なってるんやな



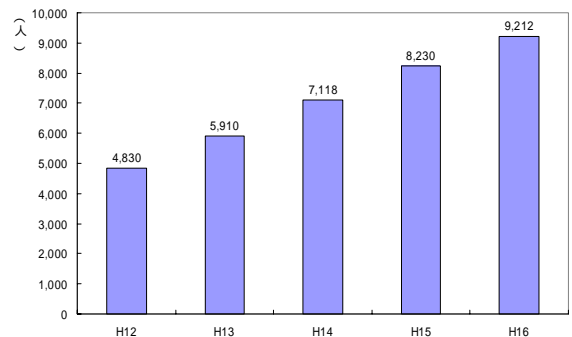
バリアフリー化への対応 ~ 誰もが楽しく移動できる社会に

現状は・・・

- ・移動制約者人口が増加傾向(平成 16 年時点身体障害者手帳等所持者数 12,806 人(市人口約 5%)。)
- ・まちなか環境におけるバリアフリー化が課題。

このような問題につながります・・・

- 交通事故の発生
- バリアフリー化が進んでいないエリアでの移動困難



《要介護認定者数の推移》

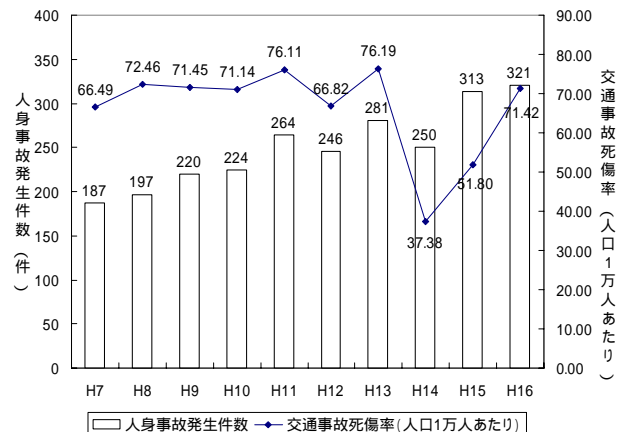
狭い歩道、歩行者に危険な道 ~ 限られた空間の自己中心的な利用が危険

現状は・・・

- ・狭い道路が多く歩道確保が困難。
- ・高齢化に伴い、高齢者人身事故件数が増加傾向(平成 16 年中約 300 件)。

このような問題につながります・・・

- 交通事故の発生
- 歩行者環境の悪化



《高齢者(65歳以上)の人身事故発生件数の推移》